

対象校No. 834

注4

学校コード F127310107938

注3

設置年度

令和

8年度

計画の区分： 学部を設置

注1

認可

注2

桃山学院大学

工学部

工学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人桃山学院

令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名

学長室

職名・氏名

カチョウ コガネマル ヒロシ
課長・小金丸 広志

電話番号

0725-92-7061 (内線: 6213)

(夜間)

0725-92-7061 (内線: 6213)

e-mail

gaku-ji@andrew.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・「〇〇短期大学 △△学科」
- ・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
- ・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

工学部

＜工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教育研究実施組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	89
7. その他全般的事項	91

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人桃山学院

(2) 大 学 名

桃山学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒594-1198

大阪府和泉市まなび野1-1

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(フジワラ トシマサ) 藤原 敏正 (令和8年4月)		
学 長	(ナカノ ミツヒコ) 中野 瑞彦 (令和4年4月)		
学 部 長	(キクタ ヒサオ) 菊田 久雄 (令和8年4月)		
学科長等			

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
工学部 工学科 学士（工学）	工学関係	4年	160人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	640人	—	

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 160 () []		0.59倍	一倍		
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 809 () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 748 () []					
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 596 () []					
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 95 () []					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.59					

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について**外数で記入**してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、（ ）書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
1 年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	95 [16] (－)	－ [－] (－)			
2 年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)			
3 年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)	
4 年次									－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)	－ [－] (－)
計											－ [－] (－)	－ [－] (－)		－ [－] (－)	－ [－] (－)

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で**記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
令和8年度	95 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(1) ① 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	記 年 当 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					一 助 手 を 除
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎 教育 科目	キリスト教と桃山学院大学	1前・後			2							2
	世界の市民	1前・後			2							15
	小計(2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0	17
	Core English(S&W)Ⅰ	1前			2							1
	Core English(S&W)Ⅱ	1前・後			2							6
	Core English(S&W)Ⅲ	1前・後			2							7
	Core English(S&W)Ⅳ	1前・後			2							4
	Core English(L&R)Ⅰ	1前			2							4
	Core English(L&R)Ⅱ	1前・後			2							9
	Core English(L&R)Ⅲ	1前・後			2							5
	Core English(L&R)Ⅳ	1前			2							2
	English ConversationⅠA	1前			2							1
	English ConversationⅠB	1後			2							1
	Extensive Reading ListeningⅠA	1前			2							1
	Extensive Reading ListeningⅠB	1後			2							3
	Extensive Reading ListeningⅡA	1前			2							1
	Extensive Reading ListeningⅡB	1後			2							2
	Grammar for CommunicationⅠA	1前			2							1
	Grammar for CommunicationⅠB	1後			2							3
	Grammar for CommunicationⅡA	1前			2							1
	Grammar for CommunicationⅡB	1後			2							1
	English TodayⅠA	1前			2							1
	English TodayⅠB	1後			2							3
	English TodayⅡA	1前			2							1
	English TodayⅡB	1後			2							2
	News and Media in EnglishⅠA	1前			2							1
	News and Media in EnglishⅠB	1後			2							2
	News and Media in EnglishⅡA	1前			2							1
	News and Media in EnglishⅡB	1後			2							1
	Cultures and SocietiesⅠA	1前			2							1
	Cultures and SocietiesⅠB	1後			2							1
	Cultures and SocietiesⅡA	1前			2							1
	Cultures and SocietiesⅡB	1後			2							1
	Basic TOEICⅠA	1前			2							2
	Basic TOEICⅠB	1後			2							1
	TOEIC対策ⅠA	1前			2							1
	TOEIC対策ⅠB	1後			2							4
	TOEIC対策ⅡA	1前			2							1
	TOEIC対策ⅡB	1後			2							4
	TOEIC対策ⅢA	1前			2							2
	TOEIC対策ⅢB	1後			2							3
	TOEIC対策ⅣA	1前			2							1
	TOEIC対策ⅣB	1後			2							1
	Basic Business EnglishⅠA	1前			2							1
	Basic Business EnglishⅠB	1後			2							2
	Basic Business EnglishⅡA	1前			2							1
	Basic Business EnglishⅡB	1後			2							2
	Business EnglishⅠA	1前			2							1
	Business EnglishⅠB	1後			2							1
	Business EnglishⅡA	1前			2							1
Business EnglishⅡB	1後			2							1	
English for Tourism IndustryⅠA	1前			2							1	
English for Tourism IndustryⅠB	1後			2							2	
English for Tourism IndustryⅡA	1前			2							1	
English for Tourism IndustryⅡB	1後			2							1	
TOEIC & Communication	1後			2							2	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単 位 数			基 幹 教 員 等 の 配 置						「 二 」 の 数
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎教育科目	キリスト教と桃山学院大学	1前・後			2								2
	世界の市民	1前・後			2								17
	小計(2科目)	—	—	0	4	0	0	0	0	0	0		19
	Core English(S&W) I (未開講)	1前			2								5
	Core English(S&W) II	1前・後			2								16
	Core English(S&W) III	1前・後			2								9
	Core English(S&W) IV	1前・後			2								4
	Core English(L&R) I	1前・後			2								8
	Core English(L&R) II	1前・後			2								11
	Core English(L&R) III	1前・後			2								7
	Core English(L&R) IV	1前・後			2								4
	English Conversation I A(未開講)	1前			2								4
	English Conversation I B	1後			2								5
	Extensive Reading Listening I A(未開講)	1前			2								1
	Extensive Reading Listening I B	1後			2								2
	Extensive Reading Listening II A(未開講)	1前			2								1
	Extensive Reading Listening II B	1後			2								2
	Grammar for Communication I A(未開講)	1前			2								3
	Grammar for Communication I B	1後			2								4
	Grammar for Communication II A(未開講)	1前			2								1
	Grammar for Communication II B	1後			2								2
	English Today I A(未開講)	1前			2								2
	English Today I B	1後			2								5
	English Today II A	1前			2								1
	English Today II B	1後			2								2
	News and Media in English I A(未開講)	1前			2								1
	News and Media in English I B	1後			2								3
	News and Media in English II A(未開講)	1前			2								1
	News and Media in English II B	1後			2								1
	Cultures and Societies I A(未開講)	1前			2								2
	Cultures and Societies I B	1後			2								2
	Cultures and Societies II A	1前			2								1
	Cultures and Societies II B	1後			2								
	Basic TOEIC I A	1前			2								6
	Basic TOEIC I B	1後			2								7
	TOEIC対策 I A	1前			2								8
	TOEIC対策 I B	1後			2								8
	TOEIC対策 II A(未開講)	1前			2								4
	TOEIC対策 II B	1後			2								7
	TOEIC対策 III A(未開講)	1前			2								2
	TOEIC対策 III B	1後			2								2
	TOEIC対策 IV A(未開講)	1前			2								1
	TOEIC対策 IV B	1後			2								2
	Basic Business English I A	1前			2								4
	Basic Business English I B	1後			2								5
	Basic Business English II A	1前			2								3
	Basic Business English II B	1後			2								5
	Business English I A	1前			2								2
	Business English I B	1後			2								3
	Business English II A(未開講)	1前			2								1
Business English II B	1後			2								1	
English for Tourism Industry I A(未開講)	1前			2								1	
English for Tourism Industry I B	1後			2									

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					（外 の 教 員 の 手 を 除 く）	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
		日本語Ⅲa	2前			1							1	
		日本語Ⅲb	2前			1							1	
		日本語Ⅳa	2後			1							1	
		日本語Ⅳb	2後			1							1	
		日本語特殊講義	1・2前・後			1							4	
	学びの基礎 リテラシー	小計(73科目)	—	—	0	137	0	0	0	0	0	0	36	
		大学レポート入門	1前・後			2							8	
		プレゼンテーション基礎	1前・後			2							4	
		IT基礎	1後			2							1	
		データサイエンス基礎	1前・後		2			1						
		小計(4科目)	—	—	2	6	0	1	0	0	0	0	9	
		教養 教育 科目	人間への着目	1後			2							1
			キリスト教A	1後			2							1
			キリスト教B	2前			2							1
			キリスト教史A	2後			2							1
キリスト教史B	2前				2							1		
キリスト教音楽Ⅰ	2後				2							1		
キリスト教音楽Ⅱ	2後				2							1		
思想と文化	1通				4							1		
倫理学	1通				4							1		
哲学	2前				2							1		
西洋文化史A	2後				2							1		
西洋文化史B	2前				2							1		
アジア文化史A	2前				2							1		
アジア文化史B	2前				2							1		
総合人間学A	2前				2							1		
総合人間学B	2後				2							1		
日本文化史A	2前				2							2		
日本文化史B	2後				2							2		
民俗学A	2前				2							1		
民俗学B	2後				2							1		
文学	1前・後				2							2		
言語学概論A	2前				2							1		
言語学概論B	2後				2							1		
応用言語学概論A	2前				2							1		
応用言語学概論B	2後				2							1		
言語と社会A	2前				2							1		
言語と社会B	2後				2							1		
日本語学概論	2前				4							1		
日本語文法論	2後				4							1		
歴史学	1前・後				2							4		
日本史	1通				4							2		
外国史	1後・通				4							2		
東洋史	1後・通				4							2		
考古学概論A	2前			2							1			
考古学概論B	2後			2							1			
地理学概論	1前・通			4							2			
地誌	1通			4							2			
社会 への 視点	小計(36科目)	—	—	0	90	0	0	0	0	0	0	25		
	法学A	1前・後			2							3		
	法学B	1後			2							1		
	憲法A	1前			2							1		
	憲法B	1後			2							1		
	民法A1	2前			2							1		
	民法A2	2後			2							1		
	民法B1	2前			2							1		
	民法B2	2後			2							1		
	働くことと法知識	1前・後			2							1		
	国際法A	2前			2							1		
	国際法B	2後			2							1		
	知的財産法A	2前			2							1		
	知的財産法B	2後			2							1		
	労働法A	2前			2							1		
	労働法B	2後			2							1		
	ジェンダー法学A	2前			2							1		
	ジェンダー法学B	2後			2							1		
	税法A	2前			2							1		
	税法B	2後			2							1		
	政治学A	1前			2							1		
	政治学B	1後			2							1		
	国際関係論A	2前			2							1		
	国際関係論B	2後			2							1		
	国際政治史A	2前			2							1		
	国際政治史B	2後			2							1		
	国際機構論A	2前			2							1		
	国際機構論B	2後			2							1		
	国際政治事情研究A	2前			2							1		
	国際政治事情研究B	2後			2							1		
	地域研究ⅠA	2前			2							1		
	地域研究ⅠB	2後			2							1		
	地域研究ⅡA	2前			2							1		
地域研究ⅡB	2後			2							1			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置						(外 の 教 員 の 手 を 除 く)	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	全 学 共 通 の 基 礎 リ テ ラ シ ー	日本語Ⅲa	2前			1							3		
		日本語Ⅲb	2前			1							5		
		日本語Ⅳa	2後			1							3		
		日本語Ⅳb	2後			1							5		
		日本語特殊講義	1・2前・後			1							5		
		小計(73科目)	—	—	0	137	0	0	0	0	0	0	62		
		大学レポート入門	1前・後			2							3		
		プレゼンテーション基礎	1前・後			2							4		
		IT基礎	1前・後			2							4		
		データサイエンス基礎	1前・後		2			1					1		
		小計(4科目)	—	—	2	6	0	1	0	0	0	0	11		
	教 養 教 育 科 目	人 間 へ の 着 目	キリスト教学A	1後			2							1	
			キリスト教学B	1後			2							1	
			キリスト教史A	2前			2							1	
			キリスト教史B	2後			2							1	
			キリスト教音楽Ⅰ	2前			2							1	
			キリスト教音楽Ⅱ	2後			2							1	
			思想と文化	1前・後			2							2	
			倫理学(未開講)	1通			4							1	
			哲学(未開講)	1通			4							1	
			西洋文化史A	2後			2							1	
西洋文化史B			2後			2							1		
アジア文化史A			2前			2							1		
アジア文化史B			2前			2							1		
総合人間学A			2前			2							1		
総合人間学B			2後			2							1		
日本文化史A			2前			2							1		
日本文化史B			2後			2							1		
民俗学A			2前			2							1		
民俗学B			2後			2							1		
文学			1前・後			2							2		
言語学概論A			2前			2							1		
言語学概論B			2後			2							1		
応用言語学概論A			2前			2							1		
応用言語学概論B			2後			2							1		
言語と社会A			2前			2							1		
言語と社会B			2後			2							1		
日本語学概論			2前			4							1		
日本語文法論			2後			4							1		
歴史学			1前・後			2							4		
日本史(未開講)			1通			4							2		
外国史			1後・通			4							2		
東洋史			1後・通			4							2		
考古学概論A			2前			2							1		
考古学概論B			2後			2							1		
地理学概論(未開講)			1通			4							2		
地誌(未開講)			1通			4							1		
小計(36科目)			—	—	0	90	0	0	0	0	0	0	24		
社 会 へ の 視 点				法学A	1前・後			2							3
				法学B	1後			2							3
				憲法A(未開講)	1前			2							1
				憲法B	1後			2							1
				民法A1	2前			2							1
				民法A2	2後			2							1
				民法B1	2前			2							1
	民法B2	2後				2							1		
	働くことと法知識	1前・後				2							1		
	国際法A	2前				2							1		
	国際法B	2後				2							1		
	知的財産法A	2前				2							1		
	知的財産法B	2後				2							1		
	労働法A	2前				2							1		
	労働法B	2後				2							1		
	ジェンダー法学A	2前				2							1		
	ジェンダー法学B	2後				2							1		
	税法A	2前				2							1		
	税法B	2後				2							1		
	政治学A	1前				2							1		
	政治学B	1後				2							1		
	国際関係論A	2前				2							1		
	国際関係論B	2後				2							1		
	国際政治史A	2前				2							1		
	国際政治史B	2後				2							1		
	国際機構論A	2前				2							1		
	国際機構論B	2後				2							1		
	国際政治事情研究A	2前				2							1		
	国際政治事情研究B	2後				2							1		
	地域研究ⅠA	2前				2							1		
地域研究ⅠB	2後			2							1				
地域研究ⅡA	2前			2							1				
地域研究ⅡB	2後			2							1				

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					(外 の 教 員 の 手 を 除 く)		
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
科学 への 扉		経済学A	1前			2								2	
		経済学B	1前・後			2								2	
		経済入門	1前・後			2								1	
		日本経済史Ⅰ	1前			2								1	
		日本経済史Ⅱ	1後			2								1	
		西洋経済史Ⅰ	1前			2								1	
		西洋経済史Ⅱ	1後			2								1	
		日本経済論Ⅰ	1前			2								1	
		日本経済論Ⅱ	1後			2								1	
		世界経済事情Ⅰ	1前			2								1	
		世界経済事情Ⅱ	1後			2								1	
		地域経済論Ⅰ	2前			2								1	
		地域経済論Ⅱ	2後			2								1	
		比較経済体制論Ⅰ	2前			2								1	
		比較経済体制論Ⅱ	2後			2								1	
		アジア経済論Ⅰ	2前			2								1	
		アジア経済論Ⅱ	2後			2								1	
		日中ビジネス論	2前			2								1	
		経営学A	1前			2								4	
		経営学B	1後			2								3	
		経営史A	2前			2								1	
		経営史B	2後			2								1	
		保険論	2後			2								1	
		会計史	2前			2								1	
		社会学A	1前			2								5	
		社会学B	1後			2								5	
		コミュニケーション論[2]	1前			2								1	
		メディア史	1後			2								1	
		マス・コミュニケーション論	1前・後			2								4	
		広報の社会学	1後			2								2	
		教育社会学A	1前			2								1	
		教育社会学B	1後			2								1	
		スポーツ社会学	1前			2								1	
		身体文化論	1前			2								1	
		地域社会学	1後			2								1	
		地域再生論	1後			2								1	
		宗教社会学	1後			2								1	
		宗教学概論	1前			2								1	
		ジェンダー論	1前			2								1	
		働き方とジェンダー	1前			2								1	
		国際社会福祉論	2前			2								1	
		ボランティア論	2前			2								1	
		ボランティアコーディネート論	2後			2								1	
		小計(76科目)	—	—	0	152	0	0	0	0	0	0	0	43	
		科学 への 扉	健康・スポーツ科学講義	1前・後			2								5
			健康・スポーツ科学演習	1前・後			2								7
			健康・スポーツ科学実習	1前・後			1								6
			障害者スポーツ論A	1前・後			2								1
			障害者スポーツ論B	1前・後			2								1
			心理学A	1前			2								3
			心理学B	1後			2								3
			IT活用a	1前			2								1
			IT活用b	1後			2								1
			コンピュータ論Ⅰ	2後			2								1
			コンピュータ論Ⅱ	2前			2								1
			学術情報資源流通の歴史と現状	2前			2								1
			情報サービス応用	2前			2								1
			情報管理	1後			2								1
			ネットワーク論	2前・後			2								1
			マルチメディア論	2前			2								1
			情報と職業Ⅰ	2前			2								1
			情報と職業Ⅱ	2後			2								1
			数理学入門	1前・後			2								1
			自然科学入門	1後			2								1
			産業考古学	2通			4								1
			科学技術史	2通			4								1
			環境問題概論	1前			2								1
			サステイナビリティ論	1後			2								1
			科学思想史	1前			4								1
			SDP入門セミナー	1前			2								1
			データサイエンスと価値共創	1後			2								1
			データサイエンス入門	1後			2								1
			データサイエンス入門演習	1後			2								1
			データサイエンスPBL	3前			4								1
			経営学のための数学	1前			2								1
			経営学のための統計	2前			2								1
	経済学のための数学入門		1前			2								1	
	プログラミング演習	1前			2								1		
	ビジネスのためのICT活用	1前			2								1		
	ビジネスのためのプレゼンテーション	2前			2								1		
	データサイエンス海外演習	3前			2								1		
	小計(37科目)	—	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	25		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					(外 の 教 員 の 手 を 除 く)		
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
科学 への 扉		経済学A	1前			2								2	
		経済学B	1前・後			2								2	
		経済入門	1前・後			2								0	
		日本経済史Ⅰ(未開講)	1前			2								1	
		日本経済史Ⅱ	1後			2								1	
		西洋経済史Ⅰ	1前			2								1	
		西洋経済史Ⅱ	1後			2								1	
		日本経済論Ⅰ	1前			2								1	
		日本経済論Ⅱ	1後			2								1	
		世界経済事情Ⅰ(未開講)	1前			2								1	
		世界経済事情Ⅱ	1後			2								1	
		地域経済論Ⅰ	2前			2								1	
		地域経済論Ⅱ	2後			2								1	
		比較経済体制論Ⅰ	2前			2								1	
		比較経済体制論Ⅱ	2後			2								1	
		アジア経済論Ⅰ	2前			2								1	
		アジア経済論Ⅱ	2後			2								1	
		日中ビジネス論	2前			2								1	
		経営学A	1前			2								3	
		経営学B	1後			2								3	
		経営史A	2前			2								1	
		経営史B	2後			2								1	
		保険論	2前			2								1	
		会計史	2前			2								1	
		社会学A	1前・後			2								4	
		社会学B	1後			2								4	
		コミュニケーション論[2]	1後			2								1	
		メディア史(未開講)	1前			2								1	
		マス・コミュニケーション論	1前・後			2								3	
		広報の社会学	1前・後			2								2	
		教育社会学A	1前			2								1	
		教育社会学B	1後			2								1	
		スポーツ社会学	1前			2								1	
		身体文化論(未開講)	1前			2								1	
		地域社会学	1後			2								1	
		地域再生論	1後			2								1	
		宗教社会学	1後			2								1	
		宗教学概論	1後			2								1	
		ジェンダー論(未開講)	1前			2								1	
		働き方とジェンダー(未開講)	1前			2								0	
		国際社会福祉論	2前			2								1	
		ボランティア論	2前			2								1	
		ボランティアコーディネート論	2後			2								1	
		小計(76科目)	—	—	0	152	0	0	0	0	0	0	0	43	
		科学 への 扉	健康・スポーツ科学講義	1前・後			2								4
			健康・スポーツ科学演習	1前・後			2								8
			健康・スポーツ科学実習	1前・後			1								8
			障害者スポーツ論A	1前・後			2								2
			障害者スポーツ論B	1前・後			2								1
			心理学A(未開講)	1前			2								4
			心理学B	1後			2								4
			IT活用a	1前・後			2								1
			IT活用b	1前・後			2								1
			コンピュータ論Ⅰ	2後			2								1
			コンピュータ論Ⅱ	2前			2								1
			学術情報資源流通の歴史と現状	2前			2								1
			情報サービス応用	2後			2								1
			情報管理	1後			2								1
			ネットワーク論	2前・後			2								1
			マルチメディア論	2後			2								1
			情報と職業Ⅰ	2前			2								1
			情報と職業Ⅱ	2後			2								1
			数理学入門	1前・後			2								1
			自然科学入門	1前・後			2								2
			産業考古学	2通			4								1
			科学技術史	2通			4								1
			環境問題概論(未開講)	1前			2								1
			サステイナビリティ論	1後			2								1
			科学思想史(未開講)	1前			4								1
			SDP入門セミナー(未開講)	1前			2								3
			データサイエンスと価値共創(未開講)	1前			2								1
		データサイエンス入門	1後			2								1	
		データサイエンス入門演習	1後			2								1	
		データサイエンスPBL	3通			4								1	
		経営学のための数学	1前			2								1	
		経営学のための統計	2前			2								1	
	経済学のための数学入門(未開講)	1前			2								1		
	プログラミング演習	1前			2								1		
	ビジネスのためのICT活用(未開講)	1前			2								1		
	ビジネスのためのプレゼンテーション	2前			2								1		
	データサイエンス海外演習	2後			2								1		
	小計(37科目)	—	—	0	81	0	0	0	0	0	0	0	30		

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					（外 の 教 員 の 手 を 除 く）		
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
未来 への 挑 戦		プレゼンテーション応用	2前・後			2							2		
		キャリア教育科目	1前・後			2							1		
		初修外国語Ⅰa	1前			2							11		
		初修外国語Ⅰb	1前			2							10		
		初修外国語Ⅱa	1後			2							11		
		初修外国語Ⅱb	1後			2							10		
		初修外国語Ⅲa	2前			2							7		
		初修外国語Ⅲb	2前			2							5		
		初修外国語Ⅳa	2後			2							7		
		初修外国語Ⅳb	2後			2							6		
		国際交流特別講義	1前・後			2							5		
		日本事情A(外国人留学生用)	1前			2							1		
		日本事情B(外国人留学生用)	1後			2							1		
		教育学概論	1前・後			2							1		
		教育心理学	2前・後			2							1		
		教育法規	2後			2							1		
		人権教育論A	2前・後			2							1		
		人権教育論B	2前			2							1		
		教育情報メディア活用論	2前			2							1		
		職業指導	1通			4							1		
		図書館・博物館への誘い	1前			2							1		
		図書館情報学原論	1後			2							1		
		生涯学習概論	1前・後			2							1		
		博物館概論	1後			2							1		
		博物館教育論	2前			2							1		
		東洋美術史	2通			4							1		
		日本語教育事情	1後			2							1		
		教養教育特別講義	1前・後			2							11		
		地域連携特別講義	1前・後			2							3		
		学外研修	1前			2							1		
		小計(30科目)	—	—	—	0	64	0	0	0	0	0	0	53	
	学 科 教 育 科 目	ビ ジ ネ ス	簿記	1前			2							1	
			中級簿記	1前			4							1	
			経営管理論	2・3前			2							1	
			経営組織論	2・3後			2							1	
			経営戦略論	2・3後			2							1	
アントレプレナー論			2・3後			2							1		
コーポレート・ファイナンス(基礎)			2・3前			2							1		
コーポレート・ファイナンス(応用)			2・3後			2							1		
人的資源管理論A			2・3前			2							1		
人的資源管理論B			2・3後			2							1		
生産管理論A			2・3前			2							1		
生産管理論B			2・3後			2							1		
財務会計論A			2・3後			2							1		
財務会計論B			2・3後			2							1		
国際会計論			2・3前			2							1		
管理会計A			2・3前			2							1		
管理会計B			2・3後			2							1		
原価計算システム			2・3前			2							1		
コスト・マネジメント			2・3前			2							1		
デジタルマーケティング			2・3後			2							1		
消費者行動論			2・3前			2							1		
グローバル・マーケティング			2・3後			2							1		
ネットビジネス			2・3前			2							1		
データ経営			2・3後			2							1		
国際経営論A			2・3前			2							1		
国際経営論B			2・3後			2							1		
地域ビジネス論			2・3前			2							1		
社会ビジネスの理論と実践Ⅰ			2・3前			2							1		
社会ビジネスの理論と実践Ⅱ			2・3後			2							1		
観光ビジネスの理論と実践Ⅰ			2・3前			2							1		
観光ビジネスの理論と実践Ⅱ			2・3後			2							1		
教育経営学			2・3前			2							1		
証券論			2・3前			4							1		
現代技術論Ⅰ			2・3前			2							1		
現代技術論Ⅱ			2・3後			2							1		
			小計(35科目)	—	—	—	0	74	0	0	0	0	0	0	23
産 学 官 共 創 演 習		工学キャリアデザイン演習Ⅰ	1前	○	2			12	3					5	
		工学キャリアデザイン演習Ⅱ	1後	○	2			12	3						
		工学PBL演習Ⅰ	2前	○	4			13	3					4	
		工学PBL演習Ⅱ	2後	○	4			13	3					2	
		工学PBL実践演習Ⅰ	3前	○		4		13	3					3	
		工学PBL実践演習Ⅱ	3後	○		4		13	3					5	
		企業インターンシップⅠ	3前	○		2		13	3					4	
		企業インターンシップⅡ	3後	○		6		13	3					4	
		小計(8科目)	—	—	—	12	16	0	14	3	0	0	0	11	
		卒 業 研 究		卒業研究Ⅰ	4前	○	4			13	3				11
卒業研究Ⅱ	4後			○	4			13	3				11		
小計(2科目)	—			—	—	8	0	0	13	3	0	0	0	11	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					（外 の 教 員 の 手 を 除 く）
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
未 来 へ の 挑 戦	プレゼンテーション応用	1前・後			2							2
	キャリア教育科目	1前・後			2							10
	初修外国語Ⅰa	1前			2							13
	初修外国語Ⅰb	1前			2							12
	初修外国語Ⅱa	1後			2							13
	初修外国語Ⅱb	1後			2							12
	初修外国語Ⅲa	2前			2							8
	初修外国語Ⅲb	2前			2							7
	初修外国語Ⅳa	2後			2							8
	初修外国語Ⅳb	2後			2							7
	国際交流特別講義	1前・後			2							5
	日本事情A(外国人留学生用)	1前			2							1
	日本事情B(外国人留学生用)	1後			2							1
	教育学概論	1前・後			2							1
	教育心理学	2前・後			2							1
	教育法規	2後			2							1
	人権教育論A	2前・後			2							1
	人権教育論B	2前			2							1
	教育情報メディア活用論	2後			2							1
	職業指導(未開講)	1通			4							1
	図書館・博物館への誘い	1前			2							1
	図書館情報学原論(未開講)	1前			2							1
	生涯学習概論	1前・後			2							1
	博物館概論	1後			2							1
	博物館教育論	2前			2							1
	東洋美術史	2通			4							1
	日本語教育事情	1後			2							1
	教養教育特別講義	1前・後			2							15
	地域連携特別講義	1前・後			2							4
	学外研修	1前			2							1
	小計(30科目)	—	—	0	64	0	0	0	0	0	0	70
学 科 教 育 科 目	簿記	1前			2							1
	中級簿記	1後			4							1
	経営管理論A	2・3前			2							1
	経営組織論A	2・3後			2							1
	経営戦略論A	2・3後			2							1
	アントレプレナー論	2・3後			2							1
	コーポレート・ファイナンス(基礎)	2・3前			2							1
	コーポレート・ファイナンス(応用)	2・3後			2							1
	人的資源管理論A	2・3前			2							1
	人的資源管理論B	2・3後			2							1
	生産管理論A	2・3前			2							1
	生産管理論B	2・3後			2							1
	財務会計論A	2・3前			2							1
	財務会計論B	2・3前			2							1
	国際会計論	2・3前			2							1
	管理会計A	2・3前			2							1
	管理会計B	2・3後			2							1
	原価計算システム	2・3前			2							1
	コスト・マネジメント	2・3前			2							1
	デジタルマーケティング	2・3後			2							1
	消費者行動論	2・3前			2							1
	グローバル・マーケティング	2・3後			2							1
	ネットビジネス	2・3前			2							1
	データ経営	2・3後			2							1
	国際経営論A	2・3前			2							1
	国際経営論B	2・3後			2							1
	地域ビジネス論	2・3前			2							1
	社会ビジネスの理論と実践Ⅰ	2・3前			2							1
	社会ビジネスの理論と実践Ⅱ	2・3後			2							1
	観光ビジネスの理論と実践Ⅰ	2・3前			2							1
観光ビジネスの理論と実践Ⅱ	2・3後			2							1	
教育経営学	2・3前			2							1	
証券論	2・3前			4							1	
現代技術論Ⅰ	2・3前			2							1	
現代技術論Ⅱ	2・3後			2							1	
	小計(35科目)	—	—	0	74	0	0	0	0	0	0	22
産 学 官 共 創 演 習	工学キャリアデザイン演習Ⅰ	1前	○	2			12	3				8
	工学キャリアデザイン演習Ⅱ	1後	○	2			12	3				4
	工学PBL演習Ⅰ	2前	○	4			13	3				2
	工学PBL演習Ⅱ	2後	○	4			13	3				3
	工学PBL実践演習Ⅰ	3前	○		4		13	3				5
	工学PBL実践演習Ⅱ	3後	○		4		13	3				4
	企業インターンシップⅠ	3前	○		2		13	3				4
	企業インターンシップⅡ	3後	○		6		13	3				4
		小計(8科目)	—	—	12	16	0	14	3	0	0	0
卒 業 研 究	卒業研究Ⅰ	4前	○	4			13	3				11
	卒業研究Ⅱ	4後	○	4			13	3				11
	小計(2科目)	—	—	8	0	0	13	3	0	0	0	11

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					(外 の 教 員 の 手 を 除 く)	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
データサイエンス	プログラミング入門(プログラミングとアルゴリズム)	1前	○	2			2					1	
	プログラミング入門(演習とプログラミング)	1後	○	2			2					1	
	データ処理演習	1前	○	2			1						
	統計学基礎	1前	○	2			1						
	人工知能と機械学習	1後	○	2			1					1	
	ロボット&エッジコンピューティング	2前			2							2	
	インターネット活用と管理	2前	○		2		1					1	
	データサイエンス演習Ⅰ	2前		2			1						
	データサイエンス演習Ⅱ	2後	○		2		1						
	システム・プログラミング	2後	○		2		1					1	
	GISとビッグデータ活用	2後			2							1	
	小計(11科目)	—	—	12	10	0	3	0	0	0	0	5	
基礎工学	微積分Ⅰ	1前		2								1	
	微積分Ⅱ	1後		2								1	
	線形代数Ⅰ	1前		2								1	
	線形代数Ⅱ	1後		2								1	
	情報数学	1後			2							1	
	工業数学	2前			2		2	1					
	システム工学	3前			2							1	
	物理学Ⅰ	1前		2								1	
	物理学Ⅱ	1後		2								1	
	物理学Ⅲ	1後		2								1	
	物理学実験	1後		2								2	
	図形科学	1後			2							1	
	知財・技術者倫理	2・3前	○	2			1					2	
	技術英語	4前		2			13	2					
	小計(14科目)	—	—	14	14	0	13	2	0	0	0	12	
	専門工学	材料力学Ⅰ	2前	○		2		1					
		材料力学Ⅱ	2後	○		2		1					
機械力学Ⅰ		2前	○		2		1						
機械力学Ⅱ		2後	○		2			1					
機械工作実習		2前	○		2		1	1					
機械製図演習		2前	○		2		1						
機械加工学		2前			2		1						
機械設計		2後	○		2		1						
機械工学実験Ⅰ		2後	○		2		1	1				1	
機械工学実験Ⅱ		3前	○		2		2					1	
流体工学Ⅰ		2後			2		1						
流体工学Ⅱ		4前			2		1						
メカトロニクス		3前	○		2		1						
機械制御工学Ⅰ		3前			2			1					
機械制御工学Ⅱ		3後			2		1						
熱力学Ⅰ		3前			2		1						
熱力学Ⅱ		4前			2		1						
計測・信号処理		3前			2			1					
機械材料学		3前			2		1						
精密加工学		3前			2		1						
ロボット工学		3後			2		1						
エネルギー工学		3後			2							1	
環境工学		3後			2							1	
機械システム工学特別演習		4前				2	3	1					
電磁気学Ⅰ		2前	○		2		1						
電磁気学Ⅱ		2後	○		2		1						
電気回路Ⅰ		2前	○		2		1						
電気回路Ⅱ		2後	○		2		1						
電気回路演習		2後			2		1					1	
電子回路Ⅰ		2前			2		1						
電子回路Ⅱ		2後			2		1						
電気電子計測		2前			2		1						
デジタル信号処理		2後			2		1						
電気電子システム工学実験Ⅰ		2後	○		2			1				3	
電気電子システム工学実験Ⅱ		3前	○		2		1					2	
電力工学Ⅰ		3前			2			1					
電力工学Ⅱ		3後			2			1					
電気機器工学		3前			2		1						
制御工学Ⅰ		3前			2		1						
制御工学Ⅱ		3後			2		1						
パワーエレクトロニクス	3前			2		1							
通信ネットワーク工学	3前			2		1							
通信システム工学	3前			2		1							
量子力学概論	3前			2		1							
モータ制御	3後			2		1							
無線通信工学	3後			2		1							
半導体エレクトロニクス	3後			2		1							
再生可能エネルギー工学	4前			2		1							
電気電子システム工学特別演習	4前				2	2							
構造力学Ⅰ	2前	○		2		1							
構造力学Ⅱ	2後	○		2		1							
構造力学Ⅰ 演習	2前			1		1							
構造力学Ⅱ 演習	2後			1		1							
基礎流体力学	2前	○		2			1						
基礎流体力学演習	2前			1			1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					(外 の 教 員 の 手 を 除 く)
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
データサイエンス	プログラミング入門(プログラミングとアルゴリズム)	1前	○	2			2					1
	プログラミング入門(演習とプログラミング)	1後	○	2			2					1
	データ処理演習	1前	○	2			1					
	統計学基礎	1前	○	2			1					
	人工知能と機械学習	1後	○	2			1					1
	ロボットとエッジコンピューティング	2前			2							2
	インターネット活用と管理	2前	○		2		1					1
	データサイエンス演習Ⅰ	2前		2			1					
	データサイエンス演習Ⅱ	2後	○		2		1					
	システム・プログラミング	2後	○		2		1					1
	GISとビッグデータ活用	2後			2							1
小計(11科目)	—	—	12	10	0	3	0	0	0	0	5	
基礎工学	微積分Ⅰ	1前		2								1
	微積分Ⅱ	1後		2								1
	線形代数Ⅰ	1前		2								1
	線形代数Ⅱ	1後		2								1
	情報数学	1後			2							1
	工業数学	2前			2		2	1				
	システム工学	3前			2							1
	物理学Ⅰ	1前		2								1
	物理学Ⅱ	1後		2								1
	物理学Ⅲ	1後		2								1
	物理学実験	1後		2								12
	図形科学	1後			2							1
	知財・技術者倫理	2・3前	○	2			1					2
	技術英語	4前		2			13	2				
小計(14科目)	—	—	14	14	0	13	2	0	0	0	21	
専門工学	材料力学Ⅰ	2前	○		2		1					
	材料力学Ⅱ	2後	○		2		1					
	機械力学Ⅰ	2前	○		2		1					
	機械力学Ⅱ	2後	○		2			1				
	機械工作実習	2前	○		2		1	1				
	機械製図演習	2前	○		2		1					
	機械加工学	2前			2		1					
	機械設計	2後	○		2		1					
	機械工学実験Ⅰ	2後	○		2		1	1				1
	機械工学実験Ⅱ	3前	○		2		2					1
	流体工学Ⅰ	2後			2		1					
	流体工学Ⅱ	4前			2		1					
	メカトロニクス	3前	○		2		1					
	機械制御工学Ⅰ	3前			2			1				
	機械制御工学Ⅱ	3後			2		1					
	熱力学Ⅰ	3前			2		1					
	熱力学Ⅱ	4前			2		1					
	計測・信号処理	3前			2			1				
	機械材料学	3前			2		1					
	精密加工学	3前			2		1					
	ロボット工学	3後			2		1					
	エネルギー工学	3後			2							1
	環境工学	3後			2							1
	機械システム工学特別演習	4前				2	3	1				
	電磁気学Ⅰ	2前	○		2		1					
	電磁気学Ⅱ	2後	○		2		1					
	電気回路Ⅰ	2前	○		2		1					
	電気回路Ⅱ	2後	○		2		1					
	電気回路演習	2後			2		1					1
	電子回路Ⅰ	2前			2		1					
	電子回路Ⅱ	2後			2		1					
	電気電子計測	2前			2		1					
	ディジタル信号処理	2後			2		1					
	電気電子システム工学実験Ⅰ	2後	○		2			1				3
	電気電子システム工学実験Ⅱ	3前	○		2		1					2
	電力工学Ⅰ	3前			2			1				
	電力工学Ⅱ	3後			2			1				
	電気機器工学	3前			2		1					
	制御工学Ⅰ	3前			2		1					
	制御工学Ⅱ	3後			2		1					
	パワーエレクトロニクス	3前			2		1					
	通信ネットワーク工学	3前			2		1					
	通信システム工学	3前			2		1					
	量子力学概論	3前			2		1					
モータ制御	3後			2		1						
無線通信工学	3後			2		1						
半導体エレクトロニクス	3後			2		1						
再生可能エネルギー工学	4前			2		1						
電気電子システム工学特別演習	4前				2	2						
構造力学Ⅰ	2前	○		2		1						
構造力学Ⅱ	2後	○		2		1						
構造力学Ⅰ 演習	2前			1		1						
構造力学Ⅱ 演習	2後			1		1						
基礎流体力学	2前	○		2			1					
基礎流体力学演習	2前			1			1				1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					（外 の 教 員 の 手 を 除 く）
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
		水理学	2後	○		2			1				
		水理学演習	2後			1			1				1
		測量学Ⅰ	2前			2							1
		測量学Ⅱ	2後			2							1
		土木計画学	3前	○		2		1					
		土質力学Ⅰ	2前	○		2		1					
		土質力学Ⅱ	2後	○		2		1					
		土質力学Ⅰ 演習	2前			1							2
		土質力学Ⅱ 演習	2後			1							2
		都市学実験	3前	○		2		2					3
		建設材料学	3前			2		1					
		都市計画・デザイン	3前			2		1					
		上下水道学	3前	○		2		1					
		河川海岸工学	3前			2			1				
		都市環境学Ⅰ	3前			2		1					
		都市環境学Ⅱ	3後			2		1					
		交通計画	3後			2		1					
		都市防災	3後			2		1					
		コンクリート構造工学	3後			2		1					
		環境生態学	3後			2							1
地盤基礎工学	3前			2		1							
都市デザイン工学特別演習	4前						3	1					
小計（77科目）		—	—	0	142	6	13	3	0	0	0	13	
合計（405科目）		—	—	48	790	6	16	3	0	0	0	214	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					(外 の 教 員 の 手 を 除 く)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
		水理学	2後	○		2			1				
		水理学演習	2後			1			1				1
		測量学Ⅰ	2前			2							1
		測量学Ⅱ	2後			2							1
		土木計画学	3前	○		2		1					
		土質力学Ⅰ	2前	○		2		1					
		土質力学Ⅱ	2後	○		2		1					
		土質力学Ⅰ 演習	2前			1							2
		土質力学Ⅱ 演習	2後			1							2
		都市学実験	3前	○		2		2					3
		建設材料学	3前			2		1					
		都市計画・デザイン	3前			2		1					
		上下水道学	3前	○		2		1					
		河川海岸工学	3前			2			1				
		都市環境学Ⅰ	3前			2		1					
		都市環境学Ⅱ	3後			2		1					
		交通計画	3後			2		1					
		都市防災	3後			2		1					
		コンクリート構造工学	3後			2		1					
		環境生態学	3後			2							1
地盤基礎工学	3前			2		1							
都市デザイン工学特別演習	4前				2	3	1						
小計(77科目)		—	—	0	142	6	13	3	0	0	0	13	
合計(405科目)		—	—	48	790	6	16	3	0	0	0	266	

卒業要件及び履修方法
卒業要件は、以下に定める基準を満たし、合計128単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:26単位(各学期)、48単位(年間)) 【共通】 ＜基礎教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計8単位以上を修得すること。 ○建学の精神 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○学びの基礎 英語・日本語科目 選択必修科目4単位以上を修得すること。 ○学びの基礎 リテラシー 必修科目2単位を修得すること。 ＜教養教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計8単位以上を修得すること。 ○人間への着目 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○社会への視点 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○科学への扉 選択必修科目4単位以上を修得すること。 ＜学科教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計112単位以上を修得すること。 ○ビジネス 選択必修科目6単位以上を修得すること。 ○産学官共創演習 必修科目12単位、選択必修科目8単位以上を修得すること。 ○卒業研究 必修科目8単位を修得すること。 ○データサイエンス 以下に定める基準を満たし、合計16単位以上を修得すること。 必修科目12単位、選択必修科目(※15)2単位以上を修得すること。 ○基礎工学 以下の各専攻に定める基準を満たし、合計22単位以上を修得すること。 ○専門工学 以下の各専攻に定める基準を満たし、合計40単位以上を修得すること。 【機械システム工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 ※1を必修科目とし、必修科目16単位、選択必修科目6単位以上(※2から2単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※4の中から、※5を必修科目、※6※7を選択必修科目とし、必修科目20単位、選択必修科目20単位以上(※6から14単位以上、※7から6単位以上)を修得すること。 【電気電子システム工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 ※1を必修科目とし、必修科目16単位、選択必修科目6単位以上(※2から2単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※8の中から、※9を必修科目、※10を選択必修科目とし、必修科目12単位、選択必修科目28単位以上を修得すること。 【都市デザイン工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 必修科目14単位、選択必修科目8単位以上(※1※2から4単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※11の中から、※12を必修科目、※13※14を選択必修科目とし、必修科目20単位、選択必修科目20単位以上(※13から3単位以上、※14から16単位以上)を修得すること。

卒業要件及び履修方法
卒業要件は、以下に定める基準を満たし、合計128単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限:26単位(各学期)、48単位(年間)) 【共通】 ＜基礎教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計8単位以上を修得すること。 ○建学の精神 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○学びの基礎 英語・日本語科目 選択必修科目4単位以上を修得すること。 ○学びの基礎 リテラシー 必修科目2単位を修得すること。 ＜教養教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計8単位以上を修得すること。 ○人間への着目 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○社会への視点 選択必修科目2単位以上を修得すること。 ○科学への扉 選択必修科目4単位以上を修得すること。 ＜学科教育科目＞ 以下に定める基準を満たし、合計112単位以上を修得すること。 ○ビジネス 選択必修科目6単位以上を修得すること。 ○産学官共創演習 必修科目12単位、選択必修科目8単位以上を修得すること。 ○卒業研究 必修科目8単位を修得すること。 ○データサイエンス 以下に定める基準を満たし、合計16単位以上を修得すること。 必修科目12単位、選択必修科目(※15)2単位以上を修得すること。 ○基礎工学 以下の各専攻に定める基準を満たし、合計22単位以上を修得すること。 ○専門工学 以下の各専攻に定める基準を満たし、合計40単位以上を修得すること。 【機械システム工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 ※1を必修科目とし、必修科目16単位、選択必修科目6単位以上(※2から2単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※4の中から、※5を必修科目、※6※7を選択必修科目とし、必修科目20単位、選択必修科目20単位以上(※6から14単位以上、※7から6単位以上)を修得すること。 【電気電子システム工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 ※1を必修科目とし、必修科目16単位、選択必修科目6単位以上(※2から2単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※8の中から、※9を必修科目、※10を選択必修科目とし、必修科目12単位、選択必修科目28単位以上を修得すること。 【都市デザイン工学専攻】 ＜学科教育科目＞ ○基礎工学 必修科目14単位、選択必修科目8単位以上(※1※2から4単位以上、※3から4単位以上)を修得すること。 ○専門工学 ※11の中から、※12を必修科目、※13※14を選択必修科目とし、必修科目20単位、選択必修科目20単位以上(※13から3単位以上、※14から16単位以上)を修得すること。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。**その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、**「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を太字の赤字**としてください。
 (専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
 その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
 新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
 (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度(新)】→【令和7年度(新)】→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度(旧)】→【令和7年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和8年度】

- [illegible]

- ・「教養教育特別講義」について、三井 規裕准教授の退職ならびに科目担当教員の見直しにより、「基幹教員以外の教員11」から「基幹教員以外の教員15」に変更。
- ・「地域連携特別講義」について、三井 規裕准教授の退職ならびに科目担当教員の見直しにより、「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・「中級簿記」について、開講時期の見直しにより、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・「経営管理論」について、カリキュラムの改定により、科目名称を「経営管理論A」に変更。
- ・「経営組織論」について、カリキュラムの改定により、科目名称を「経営組織論A」に変更。
- ・「経営戦略論」について、カリキュラムの改定により、科目名称を「経営戦略論A」に変更。
- ・「財務会計論A」について、開講時期の見直しにより、配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。
- ・「財務会計論B」について、開講時期の見直しにより、配当年次を「2・3後」から「2・3前」に変更。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授 1」から「基幹教員 教授 1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員 1」から「基幹教員以外の教員 1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	382 科目	3 科目	405 科目	20 科目 [0]	382 科目 [0]	3 科目 [0]	405 科目 [0]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△ 1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	世界経済事情Ⅰ	2	1前	一般	選択	科目担当予定者の都合による。2027（令和9）年度は開講すべく科目担当者の調整をする。
2	身体文化論	2	1前	一般	選択	科目担当予定者の都合による。2027（令和9）年度は開講すべく科目担当者の調整をする。
3	ジェンダー論	2	1前	一般	選択	科目担当予定者の都合による。2027（令和9）年度は開講すべく科目担当者の調整をする。
4	働き方とジェンダー	2	1前	一般	選択	科目担当予定者の退職による。2027（令和9）年度は開講すべく科目担当者の調整をする。

(注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は、いずれも選択科目であり、他の選択科目を履修させることとしている。
 なお、学生には、ポータルサイト（M-Port）により周知している。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{4}{405} = \boxed{0.98} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 ＜共用する他の学校＞ 桃山学院高等学校（収 容定員2,280名）基準 面積（運動場として） 8,400㎡（中学校との 共用可） 桃山学院中学校（収容 定員360名）基準面積 （運動場として） 4,800㎡ 新校舎建設に伴う増減 （竣工は2026年8月予 定）（8）			
	校 舎 敷 地	179,856.65㎡ 179,787.17㎡	1,155.30㎡	25,239.70㎡	206,251.65㎡ 206,182.17㎡				
	そ の 他	42,014.35㎡ 42,083.83㎡	0㎡	0㎡	42,014.35㎡ 42,083.83㎡				
	合 計	221,871.00㎡	1,155.30㎡	25,239.70㎡	248,266.00㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 建築中新校舎の設計変 更による延床面積増 （8）			
		76,940.45㎡ 76,865.36㎡	0㎡	0㎡	76,940.45㎡ 76,865.36㎡				
		(71,269.65㎡) (71,733.82㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(71,269.65㎡) (71,733.82㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	179室	教員研究室	19室	大学全体			
(4)	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標 本	図書は新規購入冊数に 既蔵冊数を追加（8） 大学全体での共用分 ＜図書＞ 2025年度購入・除籍等 （8） 719,098冊〔229,064 冊〕 735,510冊〔232,154 冊〕 ＜電子図書＞ 項目追加（8） 1,809冊〔70冊〕 ＜学術雑誌＞ アグリゲータ型電子 ジャーナル数 を反映（8） 35,146種〔29,993種〕 8,388種〔2,402種〕 契約変更等（8） 27,606種〔27,600種〕 38,614種〔38,610種〕 ＜機械・器具＞ 桃山学院教育大学廃止 による移管により変更 （8）	
		〔うち外国書〕	電子図書 冊〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル 種〔うち外国書〕				
	工学部	14,697〔2,857〕 2,515〔40〕	19〔16〕 17〔17〕	2,413〔2,397〕 -(16〔0〕)	2,397〔2,397〕 -(0〔0〕)	24,600 24,497	1		
		14,697〔2,857〕 2,515〔40〕	19〔16〕 17〔17〕	2,413〔2,397〕 -(16〔0〕)	2,397〔2,397〕 -(0〔0〕)	17,654 -(17,551)	(1)		
	計	14,697〔2,857〕 2,515〔40〕	19〔16〕 17〔17〕	2,413〔2,397〕 -(16〔0〕)	2,397〔2,397〕 -(0〔0〕)	24,600 24,497	1		
		14,697〔2,857〕 2,515〔40〕	19〔16〕 17〔17〕	2,413〔2,397〕 -(16〔0〕)	2,397〔2,397〕 -(0〔0〕)	17,654 -(17,551)	(1)		
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		1,329.97㎡		1,013.16㎡		18,808.64㎡			
(6)	経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費：大学全体 図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コスト含む）を含む。 ＜図書購入費＞予定よ りも減少したため （8） ＜設備購入費＞研究室 備品（PC等）先行導入 による変更（8）
		教員 1 人 当 り 研究費等	495千円	495千円	図書購入費	6,868千円 7,568千円	5,343千円	5,343千円	
		共 同 研 究 費 等	10,696千円	10,696千円	設備購入費	16,468千円 0千円	1,358,598千円 1,373,691千円	1,657千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,595千円	1,595千円	1,595千円	1,595千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		補助金収入、寄付金収入、雑収入等						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。
- （複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（8）」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 の 名 称	桃 山 学 院 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
経済学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
経済学科	4	340	—	1,420	—	1.07	1.03	—	昭和34	—				
経済学科	4	340	—	1,420	学士(経済学)	1.07	1.03	—	昭和34	大阪府和泉市まなび野1-1	令和8年度から入学定員変更(360→340)			
社会学部	4	340	—	1,420	—	1.06	1.02	—	昭和41	—	令和8年度から入学定員変更(360→340)			
社会学科	4	240	—	1,020	学士(社会学)	1.09	1.05	—	昭和41	同上	令和8年度から入学定員変更(260→240)			
ソーシャルデザイン学科	4	100	—	400	学士(社会福祉学)	0.99	—	—	平成10	同上	令和4年4月 学科名称変更(旧:社会福祉学科)			
経営学部	4	280	—	1,165	—	1.12	1.08	—	昭和48	—				
経営学科	4	280	—	1,165	学士(経営学)	1.12	1.08	—	昭和48	同上	令和8年度から入学定員変更(295→280)			
国際教養学部	4	220	—	1,045	—	1.02	0.98	—	平成20	—				
英語・国際文化学科	4	220	—	1,045	学士(国際教養学)	1.02	0.98	—	平成20	同上	令和8年度から入学定員変更(275→220)			
法学部	4	180	—	780	—	1.11	1.06	—	平成14	—				
法律学科	4	180	—	780	学士(法学)	1.11	1.06	—	平成14	同上	令和8年度から入学定員変更(200→180)			
ビジネスデザイン学部	4	170	—	770	—	1.07	1.03	—	令和3	—				
ビジネスデザイン学科	4	170	—	770	学士(ビジネスデザイン)	1.07	1.03	—	令和3	大阪府大阪市阿倍野区昭和町3-1-57	令和8年度から入学定員変更(200→170)			
人間教育学部	4	270	—	1,080	—	1.04	1.04	—	令和7	—	令和7(2025)年4月 同一法人2大学(桃山学院大学、桃山学院教育大学)の統合に伴う学部設置			
人間教育学科	4	270	—	1,080	学士(教育学)	1.04	1.04	—	令和7	大阪府和泉市まなび野1-1	第1・2・3・4年次開設(複数年次)			
工学部	4	160	—	160	—	0.59	—	—	令和8	—				
工学科	4	160	—	160	学士(工学)	0.59	—	—	令和8	同上				
大学全体	4	1,960	—	7,840	—	—	—	—	—	—				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和9年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和7年)	授業科目「統計学基礎」について、推測統計を学ぶ上で必要となる記述統計に関する内容を充実させるとともに、授業内容に関する理解が十分ではない学生に対するフォローアップを充実させることが望ましい。	【認可】 助言事項 「統計学基礎」の授業において、データの傾向を正しく把握するための記述統計の内容を拡充する検討を進めている段階である。また、学修の遅れが見られる学生へのフォローアップとして、講義を録画し配信するほか、授業時間外のオフィスアワーの活用や、担任教員による学修支援体制を整えた。これにより、個々の学生の理解度に応じたきめ細かな指導を行っている。(8)	履行中 今後は、記述統計に関する演習課題の分量を調整するなど、学生の理解度に合わせて授業構成の最適化を図る。また、授業後の質疑応答の時間を確保するとともに、学修に不安を感じる学生が教員へ相談しやすい環境づくりに努める。定期的な小テストやレポートを通じて学生の手づきを早期に把握し、必要に応じて授業内での解説を補足するなど、きめ細かなフォローアップを継続していく。これらの取り組みを通じて、学生が統計学の基礎を無理なく修得できるよう支援していく。(8)
認 可 時 (令和7年)	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 アドミッション・ポリシーに基づき2026年度入学選抜を実施したが、入学者は95名にとどまり、収容定員を充足するに至らなかった。事前の進学意向調査では、設置認可に必要な志願者・入学者の確保が見込める結果を得ていたが、設置認可が遅れた影響もあり、高校生および進路指導教諭への十分な周知が叶わなかったことが、志願者数に直結した主要因であると分析している。この結果を受け、次年度に向けては、低学年次からの動機付けを目的とした高校訪問および出張講義を強化する。また、本学部の特徴を具現化したオープンキャンパスや体験授業を戦略的に展開し、初年度の課題を解消するとともに、次年度以降の継続的かつ安定的な定員充足に繋げる。(8)	履行中 次年度以降の入学選抜に向けては、学生確保を目的とした「入試ガイド」の配布や高校訪問を積極的に展開するとともに、オープンキャンパス等の機会を通じて広報活動を一層強化していく。入学選抜の実施にあたっては、前年度の入試結果を精査した上で、開設初年度には実施できなかった総合型選抜（専願制）や指定校制推薦入試等の活用を含め、入試種別ごとの定員配分の最適化を検討する。あわせて、アドミッション・ポリシーのさらなる周知徹底を図り、本学部の教育理念に適合する学生の確保と、収容定員の充足に向けた計画的な運営を推進していく。(8)
認 可 時 (令和7年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想について着実に実施すること。	【認可】 遵守事項 新学部設置時には工学に関する実績と経験を備えた教員が欠かせないことから、基幹教員の年齢構成が高齢に偏る結果となった。教育研究の継続性を踏まえ、今後、この経験豊富な教員が30歳代および50歳代の教員に工学に関する知識や経験を伝えていくとともに、定年を迎える各年度における後任採用計画および人員計画を以下の通り策定した。 ＜採用計画＞ 令和12（2030）年度採用：5名（うち、40歳代の准教授1名、30歳代の講師1名を任用） 令和13（2031）年度採用：5名（うち、40歳代の准教授1名、30歳代の講師1名を任用） 令和14（2032）年度採用：4名（うち、40歳代の准教授1名、30歳代の講師1名を任用）(8)	履行中 今後は、左記の採用計画に基づき計画的な公募を順次行い、就任予定教員を早期から確保することにより、年齢構成が偏らない教育研究実施組織の構築を進める。(8)

- (注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。
- 【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】**
- 令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。
- 【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
- 令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。
- 【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
- 「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部 工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 桃山学院大学に、全学ファカルティ・ディベロップメント(教育活動の質的向上・発展に関して組織的かつ恒常的に行う活動をいう。以下「FD」という。)推進委員会(以下、「委員会」という。)を置く。 (全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第1条) 委員会は、学部・研究科および学内諸組織が行うFDを支援するとともに、全学的かつ恒常的にFDの検討を行い、その質的充実を図ることを目的とする。 (全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第2条) b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 委員会は月1回程度実施している。委員長は副学長が務め、委員は各学部教授会と共通教育機構から選出された教員(各1名)、その他委員長が認めた者により構成される。 c 委員会の審議事項等 1. 教育活動の質的向上に向けた施策の検討と推進 2. 学生の学習能力の育成、学習支援に関わる施策の検討と推進 3. 講演会および研修会等の企画立案 4. 学部・研究科および学内諸組織が行うFDに対する支援 5. 他大学等のFDに関する資料、セミナー等の情報の収集と学内諸組織への提供 6. 各年度における本学FDの総括的把握と検討 7. その他FDの推進に必要な事項 (全学ファカルティ・ディベロップメント(FD)推進委員会規程第5条) ② 実施状況 a 実施内容 ・ 学生による授業評価アンケートの実施 ・ SA・TA制度の運用 ・ 全学FD研修会の開催 ・ FD NEWSの発行 他

b 実施方法

- ・授業評価アンケートは、ポータルサイトで学生が回答を行う。
- ・SA・TA制度については毎学期、教授会等を通じて教員へ活用を促し、申請があった計画を委員会で審議し、対応している。
- ・全学FD研修会は対面のほか、リモートやオンデマンド等を活用し実施している。
- ・委員会で実施している取り組みを教職員に周知することを目的にFD NEWSを定期的に発行（大学Webサイト上で公開）している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・授業評価アンケートは、原則全科目を対象に専任・兼任問わず各学期実施している。
- ・SA・TA制度は毎学期、教授会等を通じて教員へ活用を促し、申請があった計画を委員会で審議している。
- ・全学FD研修会は毎年2回以上実施しており、その時々ニーズに合わせた研修を実施している。
2025年度は以下のテーマで全学FD研修会を実施した。総参加者は89.6%であった。
 - ・第1回全学FD研修会：個人情報保護の基礎
 - ・第2回全学FD研修会：教学マネジメント指針
 - ・第3回全学FD研修会：LMSの有効活用による授業の内容・運営の向上
 - ・第4回全学FD研修会：実例で知る課題解決型授業
- ・委員会で実施している取り組みを教職員に周知することを目的にFD NEWSを定期的に発行している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業評価アンケートは、アンケートの結果を踏まえた所見を各教員が受講生へフィードバックすることで授業改善に向けて取り組んでいる。
- ・SA・TA制度について、導入した授業ごとに担当教員、受講生、SA・TAとなった学生それぞれに受講後のアンケートや成果報告を実施することで、効果検証等を行っている。
- ・全学FD研修会は、授業改善につながるテーマを毎年実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

毎学期実施

2026（令和8）年度実施予定 春学期：2026（令和8）年7月中旬 ～ 7月下旬
秋学期：2027（令和9）年1月中旬 ～ 1月下旬

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果を委員会で報告するとともに、全教員へ共有している。また、学生への公開については、当アンケートの結果を踏まえた所見も含めて公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

桃山学院大学工学部工学科は、「工学の専門知識・技能に加え、工学に利活用するためのデータサイエンスの基礎的な知識・技能と人文・社会科学的視点を持ち、他者と協働し新たな価値を創出できる能力（総合知）を備え、実社会における課題を解決し、社会の発展に寄与し得る人材の育成」を教育研究上の目的として設置した。

2026年度は設置認可時期の関係で一般選抜中心の入試となり、95名が入学した。今後は広報活動の強化や総合型選抜の導入などによる定員の最適化を図り、計画的な学生確保を進める方針である。教員組織については、開設時に基幹教員15名と特任助教16名が着任しており、2029年度の完成年度に向けて十分な教育研究体制が整っている。

学生支援の面では、数学・物理の入学前教育や補講、3日間の学部独自オリエンテーションを実施したほか、8名の教員を初年次担任（アカデミックアドバイザー）に配置してきめ細かな履修・修学相談を行っている。

これらの取り組みにより、設置の趣旨・目的に掲げるアドミッション・ポリシーおよび初年次カリキュラム・ポリシーは順調に達成されている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・2029（令和11）年3月末 公表（予定）

b 公表方法

・大学Webサイト上に公表予定（2029（令和11）年3月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・2021（令和3）年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受審し、「評価の結果、貴大学は本協会の大学基準に適合していると認定する。認定の期間は2029（令和11）年3月31日までとする。」との結果を受けた。次回は、2028（令和10）年度に受審することを予定している。

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。